



19th International Conference on Mechanical Engineering and Applied Mechanics 国際会議 知能機械工学専攻の辻さんと数仲教授 「BEST PAPER AWARD」受賞



3月31日（金）に大阪で開催された「19th International Conference on Mechanical Engineering and Applied Mechanics」国際会議で知能機械工学科 数仲 馬恋典教授と数仲研究室の知能機械工学専攻の辻 祥希さんが共同研究の発表を行い、「best paper award」を受賞いたしました。共同研究のテーマは「イナータを用いた1自由度振動系の動特性に関する理論解析と実験研究」。辻さんは3月20日に修士課程を修了。すでに社会人として新しい一步を踏み出していますが、数仲教授はもちろん、辻さんにとっても思い出深い受賞となりました。

この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-29-010
4月13日～28日